

⑬-2授業改善推進プラン(中間改善計画)

小33 町田市立山崎小学校

学力調査等の状況
令和6年度全国学力・学習状況調査における平均正答率との差異を観点別に見てみると、国語の正答率は都平均に対し-8%で、算数の正答率は都平均に対し-9%である。また学習内容別に見ると、国語の話す聞く力が、都の平均の-15.7%、全国平均の-11.6%と大きく下回っている。書く力は、+2.4%と都平均を越える理解力を示しており、一昨年度までの「書く力」を伸ばす校内研究の成果が表れている。

見えてきた課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や意図に応じて集めた情報を分類したり、関連付けたりして伝える内容を検討する力が弱い。「話す・聞く」</li> <li>・話し言葉と書き言葉の違いに気付いたり、文の中における主語と述語の関係を捉えたりする力が弱い。「言語」</li> <li>・直径や円周の長さや円周率の関係を理解したり、立体の体積の求め方を考えたりする力が弱い。「図形」</li> <li>・百分率で表された割合についての理解が弱い。「変化と関係」</li> </ul>

授業をデザインする8つの取組について	
ICT機器の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ク롬ブックを活用し、自分の考えを友達に伝えたり、友達の考えを知ったりする学習活動を取り入れる。また、集めた情報をまとめたり、プレゼンテーション資料の作成をしたりする学習活動を行う。</li> <li>・理科実験や観察などにおける動画の活用、社会科資料などの情報収集、算数での表やグラフ作成などICTによる学習支援を積極的に行う。</li> </ul>
見通しをもたせる導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入場面で大型ディスプレイや具体物を活用し、既習事項の確認をしたり、本時に何をするかを明確にしたりする。</li> <li>・画像や動画を活用し、学習のイメージを膨らませ、児童が課題解決への見通しを持ち、粘り強く取り組めるようにする。</li> </ul>
振り返りの設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1時間の学びの成果を実感させ、学んだことや意欲、問題意識を次につなげられるような視点を設ける。その際、本時のキーワードや学習用語を用いる等の条件を設定して、学びを振り返らせるなどの工夫をする。</li> </ul>

各教科における課題を改善するための指導の重点				
	年度当初に設定した重点	低学年	中学年	高学年
国語科	語彙を増やすために国語辞典を活用し、漢字や文法等苦手なところに気を付けながら、練習問題などで繰り返し練習したり、「おすすめ本」を紹介して読書の幅を広げたりする。言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、言葉の特徴や使い方を理解し自分の思いや考えを深める学習の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文字指導では、読み方、書き順、写し書きなどの一貫した手順を、繰り返し行い定着を図る。楽しく取り組めるようICTを活用する。</li> <li>・読む能力を高めるために、正確に読むことを基本として行えるように教師の範読や一文読みなどの音読を取り入れる。</li> <li>・読書の時間を定期的に確保し、学校図書室の利用や読み聞かせの機会を充実させて、読書に親しめるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の読み書きについては、小テスト等反復練習を行う。</li> <li>・読解の学習では、国語辞典を活用し、語句の意味調べを行う。段落分けなど、文章の構成を意識しながら学習をすすめるようにする。</li> <li>・作文指導では、始め・中・終わりを意識して文章を書かせるようにする。</li> <li>・PCなどで、ローマ字に親しませる。</li> <li>・幅広く読書ができるように図書室利用の機会を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意味調べや部首調べ等、国語辞典や漢字辞典を使って語句に親しむ。</li> <li>・段落の関係を整理したり、書き手の主張をとらえたりしながら、的確に文章の内容を理解できる学習を取り入れる。</li> <li>・結論や理由をはっきりさせて意見を述べたり、相手の意見を聞くなどの話し合い活動を取り入れたりする。</li> <li>・読む能力を高めるために、叙述を根拠に読むこと、対話を取り入れる。</li> <li>・本の紹介などを通して、すすんで読書に取り組めるようにする。</li> </ul>
社会科	単元毎に中心概念、社会的現象、用語・語句を明確にして社会的な思考力を伸ばし知識の定着を図る。また、対話的な学びを取り入れて、児童が主体的に学習意欲を継続する学習スタイルを定着させていく。基礎的な知識だけでなく、学習事項から互いの考えをつないでまとめるなど、自分の思いや考えを深める学習の充実を図る。	(中学年からスタートに向けて現時点で意識する指導の重点) <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校探検や町探検など、実際に見学することで、お世話になっている人や物など、社会とのつながりについて考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・方位、グラフをはじめとした地図や資料を読み取る場面を増やす。また、必要な情報を選び、活用できるような場面を設定する。</li> <li>・見学の際には、質問事項を準備しておくなど、目的意識を高めておく。</li> <li>・学習を自分の生活に結びつけられるようなまとめ方を指導し、自分で学習をまとめる経験を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に対し、資料から読み取った情報等を根拠を発見させ、まとめるような問題解決型の学習を展開する。</li> <li>・重要な語句については目立つように記入させたり、反復させたりする。</li> <li>・グラフや地図、図など必要な情報を生かしたり、ノート、発表、新聞等を参考にした様々なまとめ方を経験させたりする。</li> </ul>
算数科	問題解決学習の推進により、問題をきちんと把握し、見直しをもって論理的に、自立的、協働的に解決していく力をつける授業スタイルをとる。また、計算方法だけでなく、仕組み理解とのスパイラルな学習を行い、柔軟に発展的に対応できる計算力をつけていく。東京ベアシックドリルの実施結果や学力調査の結果を分析し、学年別に重点指導内容を意識した指導を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・百マス計算などの計算演習を定期的に行い、基礎的な計算力をつける。数の合成分解が自在にできるよう、基本的な問題に繰り返し取り組ませる。</li> <li>・簡単な図や絵、具体物を活用して問題を把握したり、自らの考えを表したりする習慣づけを行う。</li> <li>・既習事項を確認する時間を適宜確保したり、AIDリルを活用したりして、学習の積み重ねができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数指導により、それぞれの児童の実態に即した授業展開を工夫する。コースに応じ、児童が意欲的に学習できるように課題や教材を準備する。</li> <li>・問題の解答について、集団で比較、検討を行い、計算等の仕組みを理解できるようにする。</li> <li>・既習事項を確認する時間を適宜確保したり、AIDリルを活用したりして、学習の積み重ねができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数指導により、それぞれの児童の実態に即した授業展開を工夫する。特に計算処理技能については徹底した定着を図る。</li> <li>・友達のことを聞き、自分の考えと比較することで、よりよい考えや自分に合った解法などを見つげたり選択したりできるようにする。</li> <li>・既習事項を確認する時間を適宜確保したり、AIDリルを活用したりして、学習の積み重ねができるようにする。</li> </ul>

⑬-2授業改善推進プラン(中間改善計画)

理科	<p>考えたことを自分なりに整理して、言葉で説明したり、文章や図、絵などで表現する活動を増やしていく。また、探究する活動の各場面において言語活動を充実させることで、科学的な思考力、表現力を高めていき、問題を科学的に解決しようとする学習の充実を図る。</p>	<p>(中学年からスタートに向けて現時点で意識する指導の重点)          ・野菜や植物、生き物の観察をする際、これまでの様子と比べたり、これからの成長の様子を予想したりしながら観察する。</p>	<p>・思考力を高めるために、自ら問題を見出したり、生活等の実体験から根拠のある予想や仮説をもつことができるように指導する。          ・観察や実験などの活動を通して、言語活動の充実を図り、言葉や絵などを使い、共通点や相違点について表現したり、説明したりできるように指導する。</p>	<p>・各内容の性質について、予想や仮説から、解決方法を思考したり、妥当な考えを導き出したりする活動を通して、思考力を高めていく。          ・問題を解決する学習に取り組み、現象を多面的に調べ、言葉や絵などで表現する力を育てる。          ・予想を確かめるための実験方法の工夫や実験の結果から考察をする活動を通して、科学的思考力を高めていく。</p>
各教科における課題を改善するための指導の重点				
	年度当初に設定した重点	低学年	中学年	高学年
生活科	<p>校外での活動を積極的に取り入れ、調べたことや体験したことを下級生に伝える場を設け、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自分と地域の人々、社会及び自然との関わりが具体的に把握できるような学習活動の充実を図る。</p>	<p>・植物や生き物を育てる活動を通して、成長の様子に気づき、世話をする活動を通して、植物や生き物への親しみをもてるようにする。          ・地域との関わる活動を通して、地域の魅力に気づき、働いている人々にインタビューすることで、自分たちの生活がさまざまな場所や人と関わっていることを感じられるようにする。</p>	/	/
音楽科	<p>各学年の発達段階に応じて、基礎的な技能の習得を行い、音楽的な見方・考え方を働かせ、他者と協働しながら、音楽表現を生み出したり音楽を聴いてそのよさなどを見いだしたりするなど、思考、判断し、表現する一連の過程を大切に学習の充実を図る。</p>	<p>・打楽器などの楽器を使用したり体を動かす活動を通して、他者と協働しながら音楽活動をする楽しさや技能と表現力を身につけるようにする。          ・日常生活や自然環境などと関連させ曲への関心と理解を深め、曲がもつ面白さなどを発見し、自分なりの良さを見つけられるようにする。          ・音楽を聴いた時や、他者の演奏や発表を聴いた際、気付いたことや感想、良かったところなどを、言葉にして伝え合うようにする。</p>	<p>・日頃から常時活動を行い、基礎的な知識と技能の力の向上を図り、様々な音楽活動に活かせるようにする。          ・歌唱では、歌詞の内容を確認し、写真や動画などを使って理解を深めるなど工夫して、言葉から歌い方のイメージにつながるようにする。また、言葉の発音や呼吸に気を付けた指導を段階的に行い、響きのある発声を目指していく。          ・器楽・鑑賞では、感受したことを自分の言葉で表現できるように曲のポイントを絞ったり、音楽の要素や表現に使う言葉を確認したりして、自身の考えを深めやすくする。</p>	
図工科	<p>道具や材料のよさを生かし、自分の表したいことを表現したり、形や色のもつイメージを感じながら、表現活動と鑑賞活動を行ったりして、造形的な見方・考え方を働かせ、表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習の充実を図る。</p>	<p>・様々な素材を取り入れ、手や体全体で感覚を働かせる活動を通して、創造的に作ったり表したり表すことの楽しさを感じられるようにする。          ・教材や道具の安全な使い方を、十分に指導する。          ・鑑賞する活動を通して、表したいこと、表し方を感じ取ったり考えたり自分の見方を広げられるようにする。</p>	<p>・水彩絵の具やコンテパステルなどを使った造形遊びの活動を通して、用具を自分の表現したいものに合わせて工夫して表現することができるようにする。          ・教材や道具の安全な使い方を、十分に指導する。          ・鑑賞する活動を通して、自分たちの作品を見て考えたり、感じたりすることができるようにする。</p>	<p>・墨などの伝統的な画材の使用する活動を通して、材料や用具を活用し、創造的に作ったり表したりすることができるようにする。          ・教材や道具の安全な使い方を、十分に指導する。          ・鑑賞する活動を通して、自分たちの作品を見て、表現の意図や特徴を考察することができるようにする。</p>
家庭科	<p>体験的な活動(実習)の充実や授業開始前の注意事項板書、作業手順を絵や図に表して主体的活動、視覚的な理解を促す。生活の営みを想起させながら、生活体験等と関連付けてより深く理解させていくとともに、日常生活の中から問題を見いだして様々な解決方法を考えさせていく。</p>	/	/	<p>・昨年度より、調理実習を再開した。安全に気を付けながら、活動を行う。          ・クリーン大作戦やミシンでソーイングを行い、生活体験の中から日常生活での問題を想起させる授業を行い、家庭でも実践できるように、振り返りを行う。</p>
体育科	<p>3観点バランスよく育むために、運動の特性を意識した単元の指導計画を立て実践する。児童の実態を見取り、具体的支援を行う。また、知識・技能の基盤作るために、領域や学級の実態に応じた、チーム編成や場の設定を意図的・計画的に行う。さらに思考力・判断力・表現力を養っていくために、1単位時間のめあてをもたせ、振り返りを毎時間行う。</p>	<p>・WBGTの値に注意をはらい、適度な休憩・水分補給を怠らず、安心・安全な授業を行う。          ・学習のめあてやルールの確認を行い、共同的に学習できるようにする。          ・授業の終わりに、振り返りを行い、次につながるように指導する。</p>	<p>・WBGTの値に注意をはらい、適度な休憩・水分補給を怠らず、安心して安全な体育の授業を目指す。          ・学習の場を設定したり、児童が準備や片付けを行ったりする際には、安全指導を十分に行う。          ・授業の終わりに、振り返りを行い、次につながるように指導する。</p>	<p>・WBGTの値に注意をはらい、適度な休憩・水分補給をとらせる。また、感染症予防に努め、安心して安全な体育の授業を目指す。          ・様々な学習の場を設定し、学習カードやICT機器を活用して、支援の手立てを充実させ、3観点バランスよく育つよう学習計画を立てる。小集団の関わりを大切に、知識・技能、思考力・判断力・表現力等を両立させ指導する。</p>

⑬-2授業改善推進プラン(中間改善計画)

外国語科	<p>外国語科としての指導内容を理解し、年間カリキュラムの作成を行う。「読むこと」「書くこと」指導の充実を図る。外国語やその背景にある文化などの見方・考え方を働かせ、コミュニケーションの基礎的な力を身につけさせる。</p>	/	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎時間、決まった流れで授業を進めることで、児童が見通しをもって授業に参加できるようにする。</li> <li>・学習のめあてを明確にし、めあてに対する単語や文を何度も声に出す機会を設ける。</li> <li>・教員とALTとのやりとり・ペアで会話等を行う時間を取り、聞く・話す活動を通してコミュニケーションの力を身に付けられるようにする。</li> </ul>
------	---	---	---	--

各教科における課題を改善するための指導の重点

	年度当初に設定した重点	低学年	中学年	高学年
総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域教材・人材の更なる掘り起しを計画的に行い、体験学習を中心とした学習を展開する。</li> <li>○地域の施設の利用方法(忠生公園・ただONなど)を知ることを通して、地域の理解を深められるようにしていく。</li> <li>○調べたことや体験したことを下級生に伝える場を設ける。下級生に分かりやすく伝えられるように発表の仕方を工夫する。</li> </ul>	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域人材を活用した体験的学習を取り入れ、学習計画を立てている。</li> <li>・障害理解を通して、人権意識を高める。</li> <li>・学習課題に問題設定し、調べたことや体験したことを取捨選択し、発表方法を検討して分かりやすく工夫した発表を行えるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域人材を活用した体験的学習を取り入れ、学習計画を立てている。</li> <li>・職業調べの活動等を通して、キャリア教育の充実を図る。</li> <li>・学習課題に問題設定し、調べたことや体験したことを取捨選択し、発表方法を検討して分かりやすく工夫した発表を行えるようにする。</li> </ul>
特別の教科 道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童が多面的・多角的に考えられるような発問を構成しながら、道徳的価値の理解が深められるようにしていく。また、道徳的理解を自分との関わりで考え、自己の生き方についての考えを深められるような授業を展開する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が多面的・多角的に考えられるような教材を取り上げる中で、めあてにせまる手立てを工夫する。</li> <li>・教材の登場人物の気持ちを自分に置き換えて考えたり、日常の自分の生活に照らし合わせて考えたりして自分のこととして捉えられるようにする。</li> <li>・ワークシートに記入することで、自分の考えをもつようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が学習のねらいに迫ることができるように教材分析を行い、発問の精選をして授業展開をする。</li> <li>・児童が安心して発言できるように、ワークシートに書く活動を毎時間取り入れた。</li> <li>・自分の考えだけでなく、友達のことを聞いたり、書いたりすることで、人間理解、価値理解を深めるように工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が学習のねらいに迫ることができるように教材分析を行い、発問の精選をして授業展開をしている。</li> <li>・児童の考えが明らかになるように、ワークシートに書く活動を毎時間取り入れ、発言の深まりをねらう。</li> <li>・自分の考えだけでなく、友達のことを聞いたり、書いたりすることで、人間理解・価値理解を深めるように工夫している。</li> </ul>
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○たてわり班活動をより充実させ、6年生のリーダーとしての資質を育てるとともに、異学年交流を深める。</li> <li>○児童の役割を分担して学級会を開き、有効な活動に必要な力を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たてわり班活動を通し異学年との交流の中で、子どもたち同士での集団活動の中でよりよい人間関係を築けるようにする。</li> <li>・日々の係活動を通して、子どもたちが自発的に活動する力を育てる。</li> <li>・児童の役割を分担して学級会を開き、他者と協同しながらよりよい学級を築けるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たてわり班活動を通し異学年との交流の中で、よりよい人間関係を築けるようにする。</li> <li>・日々の係活動を通して、自主的な活動の素地を育てる。</li> <li>・児童の役割を分担して学級会を開き、自主的な活動の素地を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たてわり班活動を通し異学年との交流の中で、よりよい人間関係を築けるようにする。また、高学年として下級生をまとめる力を育てる。</li> <li>・日々の係活動を通して、自主的な活動を進める。</li> <li>・児童の役割を分担して学級会を開き、自主的な活動を進める。</li> </ul>
外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外国語活動としての指導内容を理解し、年間カリキュラムの作成を行う。「聞くこと」「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」指導の充実を図る。</li> <li>○正しいアルファベットをもとにして、馴染みのある単語を聞いたり、話したりできるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語の歌を聞いたり、歌ったり、英語を使ったゲームをしたりして、楽しみながら英語表現に親しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語での挨拶を毎時間行い、習慣化する。</li> <li>・英語の歌を聞いたり、歌ったりして、楽しみながら英語表現に親しむ。</li> <li>・コミュニケーションを図る活動の際には、ペア活動など少人数で行い、学習形態を工夫する。</li> </ul>	/